

ごあいさつ

エコチル調査の推進につきまして、日頃よりご理解、ご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

10万人を超える妊婦さんの参加登録を得て開始された本調査の成功の鍵は、可能な限り多くの子どもたちの参加継続、そして高い質問票返却率の維持です。

全県下で実施されている福島県における本調査は、調査登録出生児の約97%（約12,500人、2018年3月31日現在）が継続参加し、半年ごとの質問票回収率は概ね80%となっているなど順調に進んでいます。参加者そして関係者の皆様のご協力の賜物です。改めて感謝申し上げます。

この度、これまで参加者の皆様からご提出いただいた質問票の中から、特に関心が高いと思われる項目について、福島県のデータを中心に集計し、グラフとしてご覧いただけるよう冊子にまとめました。

さて、みなさん、小惑星探査機“はやぶさ”をご存知でしょうか？ 2号機がリュウグウでの第2のミッションを始めていますが、1号機は7年間の宇宙での幾多の困難を乗り越えて地球に戻り、宇宙の神秘を紐解く情報を私たちにプレゼントしてくれました。エコチル調査はようやく7年を経過しました。リクルートから16年間の大航海はまだまだ続きます。

一日一日と成長する子どもたちを関係者の皆様とともに見守ってまいります。どうぞこれからもエコチル調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



2018年11月
エコチル調査福島ユニットセンター